

各位

2026年2月6日
公益財団法人 日本英語検定協会

【続報】英検（従来型）/ 英検 S-CBT / 英検 S-Interview 2026年度第1回検定より 本人確認方法変更のお知らせ 【1級～3級】顔写真付き身分証明書が確認できない場合は「認証失格」となります

平素より実用英語技能検定（英検®）をご活用いただき、誠にありがとうございます。

各種外部検定試験の大学入試における活用の普及・拡大に伴い、本人確認の強化をはじめとする不正行為防止への必要性がより高まっております。

つきましては、2025年10月30日にお知らせいたしました通り※、2026年度第1回検定より、「英検（従来型）」（一次/二次試験公開会場）、「英検 S-CBT」、「英検 S-Interview」について、試験の公平性および厳格性をさらに確保するため、本人確認方法を変更いたします。

この変更により、**1級から3級の受験者は、試験当日に「協会が定める顔写真付き身分証明書」の原本提示が必須**となります。万が一、試験当日にお忘れになった場合は、後日、**指定の期限（試験日翌々日の午前9時30分 ※日本時間）まで**に、協会が定める方法をご提出いただく必要があります。

期限までにご提出が確認できない場合や、ご提出内容に不備または志願者情報との相違があった場合、いかなるご事情がありましても、当該試験の合否結果は「認証失格」となり、成績結果は「無効」となりますので、何卒ご留意ください。

公平かつ厳正な試験実施のため、受験者の皆様には以下の詳細をご確認いただき、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

※1：英検（従来型）/ 英検 S-CBT/ 英検 S-Interview 2026年度第1回より本人確認変更方法変更のお知らせ（2025年10月30日付）

＜対象となる試験および対象級＞

2026年度第1回検定（2026年4月以降実施の試験）より適用される試験と対象級は以下の通りです。

対象となる試験	✓ 英検（従来型）一次試験公開会場（海外公開会場を含む） ✓ 英検（従来型）二次試験公開会場（海外公開会場を含む） ✓ 英検 S-CBT（海外会場を含む） ✓ 英検 S-Interview	※準会場は除く
対象級	✓ 英検（従来型）1級、準1級、2級、準2級プラス、準2級、3級 ✓ 英検 S-CBT 準1級、2級、準2級プラス、準2級、3級	※4級以下は対象外

以下より、詳細をご説明申し上げます。

1. 試験当日の必須持参物

対象となる試験では、**「協会が定める顔写真付き身分証明書」の原本提示が必須**となります。

身分証明書のコピーや撮影した画像データ、スマートフォンやタブレットの提示によるデジタル証明書、および有効期限切れの顔写真付き身分証明書は一切認められません。

各試験における本人確認に関する必須持参物および、有効な顔写真付き身分証明書は以下の通りです。

本人確認に関する 必須持参物	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 受験申し込みを証明する書類 [英検（従来型）／英検 S-Interview] 受験票兼本人確認票（顔写真貼付済み） [英検 S-CBT] 受験票 ✓ 協会が定める顔写真付き身分証明書
協会が定める顔写真付き身分証明書 (原本・有効期限内)	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 学生証・生徒手帳（デジタル学生証を除く） ✓ 運転免許証（仮運転免許証・運転歴証明書を含む） ✓ パスポート ✓ マイナンバーカード ✓ 社員証 ✓ 在留カード ✓ 特別永住者証明書 ✓ 障害者手帳（身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳） など本人を証明し、協会にて本人確認が可能な顔写真付きの証明書

- 海外公開会場で実施する「英検（従来型）」、「英検 S-CBT」においても、顔写真付きの身分証明書の原本提示が必須となります。
- 4級および5級については、従来通り受験票のみの持参で受験可能であり、身分証明書の提示は不要です。
- 顔写真が付いていない証明書、名刺・会員カード類・定期券・住民票・クレジットカード類・プリペイド IC カード類、有効な顔写真付き身分証明書のコピー やスマートフォン等で撮影した画像等は有効な身分証明書として認められません。

2. 会場での厳格な本人確認プロセス

試験当日は、なりすまし等の不正行為を防止するため、以下の要領で厳格な本人確認を実施します。各情報に整合性が取れない場合は本人確認不備に伴う書類発行や、受験のお断りをすることございます。なお、顔写真付き身分証明書と受験票のいずれも忘れた場合、受験は認められません。

英検（従来型） ／ 英検 S-Interview	試験監督者による「来場者本人」+「受験票兼本人確認票（顔写真貼付）」+「顔写真付き身分証明書」の3点の照合による顔写真及び志願者情報との一致を確認
英検 S-CBT	試験監督者による「来場者本人」+「受験票（顔写真入り）」+「顔写真付き身分証明書」の3点の照合による顔写真及び志願者情報との一致を確認

- 英検（従来型）においては、受付時以外にも試験監督者が顔写真付き身分証明書の提示を求める場合があります。試験会場内では受験者本人が常に携行してください。

3. 本人確認不備時の対応と「認証失格」について

試験当日に有効な顔写真付き身分証明書を提示できなかった場合、その場では失格となりませんが、有効な成績結果を受け取るためにには、以下の STEP 1 および STEP 2 の手順を期限内にすべて完了させる必要があります。

STEP 1 試験当日の 手続き	試験会場にて、「顔写真付き身分証明書提出のお願い（以下、誓約書類）」の発行手続きを受けてください。 英検（従来型）／英検 S-Interviewにおいては、後日提出いただく顔写真付き身分証明書との一致確認を行うため、試験会場にて試験監督者が専用端末を用いて受験者の顔写真を撮影・印刷し、誓約書類に貼付します。試験開始前までにこの手続きを行わなかった場合、その後の救済措置は一切ございません。
---------------------------------	--

STEP 2 試験後の 手続き	試験終了後、以下の期限および方法にて、協会が定める顔写真付き身分証明書の画像をアップロードすることによりご提出ください。 ➤ 提出期限： 試験日翌々日の午前9時30分まで ※日本時間（期限厳守） ➤ 提出方法：【英検（従来型）／英検S-Interview】協会が指定する専用サイトよりアップロード 【英検S-CBT】受験者マイページよりアップロード
-----------------------	--

- 試験会場での撮影は、後日提出される顔写真付き身分証明書との照合のみを目的としており、撮影された写真データは試験終了後、協会の個人情報保護方針に基づき厳重に管理いたします。
- 身分証明書画像の提出方法は試験当日に個別に案内させていただきます。また、アップロードする画像の撮影方法や注意点等はアップロードサイトにてご案内いたします。

【重要】認証失格の適用基準

以下に該当する場合、理由の如何を問わず合否結果は「認証失格」と表示され、成績結果は無効となります。

- ✓ 上記の期限(試験日翌々日の午前9時30分 ※日本時間)までに協会が定める顔写真付き身分証明書の画像がアップロードされなかった場合
- ✓ アップロードされた画像に不備があり、協会にて本人確認が完了しなかった場合
(例) 協会が定める顔写真付き身分証明書では無い、有効期限が切れている、身分証明書に記載されている情報と志願者情報が一致していない、画像の内容が不鮮明で協会にて読み取りが困難、など
- ✓ 【英検（従来型）／英検S-Interview】誓約書類に貼付の顔写真とアップロードされた顔写真付き身分証明書の顔が同一人物と判定できなかった場合
【英検S-CBT】申込時に登録された顔写真とアップロードされた顔写真付き身分証明書の顔が同一人物と判定できなかった場合

- 顔写真付き身分証明書の画像を後日提出する場合、成績の提供スケジュール（WEB合否公開日、成績表必着日）が通常より遅れる場合がございます。
- 异議の申し立ては認められません。また、提出期限の延長、検定料の返金、代替措置等の救済措置は一切ございません。

認証失格となった場合、当該試験の成績はすべて「無効」となるため、成績表は発行されますが、合否結果は「認証失格」、スコアは「-」と表示されます。

英検（従来型） ／ 英検S-Interview	<p>【一次試験での認証失格】一次合否結果は「認証失格」となり、二次試験の受験資格は喪失します。</p> <p>【二次試験での認証失格】二次合否結果は「認証失格」となり、総合合否結果も「認証失格」となります。</p> <p>(一次試験の成績結果は有効となり、一次試験の結果により一次試験免除資格を取得できます)</p>
英検S-CBT	<p>総合合否は「認証失格」となり、当該試験のスコア・合否はすべて無効となります。</p> <p>※ただし、一次試験免除申請の上、受験した試験で「認証失格」となった場合でも、 一次試験免除資格が発生した試験（元の試験）の成績結果は、引き続き有効です。</p>

今後も、引き続き試験における公平性、厳格性の強化に努めてまいります。

以上、ご理解ならびにご協力のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

※「英検」およびそのロゴは、公益財団法人日本英語検定協会の登録商標または商標です。